



一般会計補正予算中 総合交通対策事業

(質疑) 事業の内容に資料の作成とあるが、この資料作成の内容と目的は。

(答弁) 観光案内所などに設置している佐賀市バス路線マップについて、外国語版のデータを作成する。作成する言語は、英語、韓国語、中国語の3言語を予定している。このことで路線バスを外国人旅行者の移動手段として、認知向上を図り、市内の観光地などへの移動に役立ててもらい、利用促進にもつなげたい。

(質疑) 外国人向けのガイドは、どの言語に対応する必要があるかのリサーチは行ったのか。また、在留外国人の状況は調査したのか。

(答弁) 言語の決定には、佐賀市を訪れる外国人旅行者の国籍と宿泊者の数を最も重視した。その統計では、中国、韓国、台湾、香港からの旅行者が上位を占めている。なお、本市内の在留外国人の国籍の内訳は、ベトナムが一番多く、次いで中国、フィリピン、ネパール、韓国の順と把握している。

(質疑) 実際に住んで生活している外国籍の方々に対応しなくていいのか。

(答弁) 在留外国人も含めた市民の移動手段を確保するとともに、地域公共交通に不可欠なバスの利用促進を図ることは、本市の交通政策上重要な使命であると考えている。そこで、ベトナム語を含めた他の言語の作成に関しては、今回の事業とは別に今後検討したい。

一般会計補正予算中 自治公民館空調機等省エネルギー化促進事業

(質疑) この事業の募集方法はどのようなのか。

(答弁) 補助対象が自治会であることから、自治会協議会を通じて、各单位自治会長会への周知や校区公民館へのチラシ設置などを考えている。

(質疑) 国の交付金を財源としているが、交付金が打ち切られたら事業も終わるのか。こういう継続性のあるべき事業については、今後もやっていくべきではないか。

(答弁) 次年度以降も既存の制度を見直して、対応できるようにしていきたい。

一般会計補正予算中 電子地域振興券発行事業

(質疑) この事業の内容はどういったものなのか。

(答弁) スマートフォンに佐賀市公式スーパーアプリをダウンロードし、マイナンバーカードを使ったID登録を行っていただいた市民の方々に対し、電子地域振興券2,500円分のポイントを最大4万名に付与する。

(質疑) マイナンバー登録を必須条件とした理由は何なのか。また、個人情報流出の危険性はないのか。

(答弁) マイナンバーカードは住民基本台帳と連動して、ICチップ内の氏名などの4情報が最新の状態で確認できるため。個人情報流出の原因は人為的なミスやシステムの不備による情報のひも付けの問題である。今回の事業は4情報の確認のみを行い情報のひも付けは行わないため、危険性はないと考える。

一般会計補正予算中 DX推進支援モデル事業

(質疑) 昨年度の事業概要、現在までの経過、成果の説明を。

(答弁) 市内企業のDX先進事例を創出し、他企業に波及させることにより、市内企業全体のDX推進を図ることを目的に、昨年度から新規事業として取り組んでいる。昨年度に3社を選定し、社員のDXに関する意識の醸成や課題の洗い出しなどを行った。

(質疑) この事業自体がその成功事例を作るためのモデル事業と理解している。市がしっかりと舵取りをする必要があると思うが、途中経過の把握やチェックはどのようなのか。

(答弁) 中小企業が様々な課題を解消しつつ、DXを成功させるためには、単なるシステムや機器導入による業務の効率化にとどまらず、その先に何を果たしたいのか、経営者自らが戦略を明確に持ち、社内が一体となって取り組むことが最も重要と考えている。支援コンサル事業者やデジタルツールなども活用しながら、改革にチャレンジしていける環境を整えるとともに、取組事例を市内企業にも共有しながら、DXを推進したいと考えている中小企業を、この事業でしっかりとサポートしたいと考えている。

総務

一般会計補正予算中、DX推進経費

〔質問〕DX推進は、いろいろな部署にまたがっているが、どのように連携をとっているのか。スマートシティ構想を進める上でDX推進課が全体的な把握をし、指導的役割を担う必要があるのではないか。

〔答弁〕DX推進課は庁内外でDX関連業務について情報を共有し、必要に応じて知見の提供や意見を述べている。スマートシティの実現に向けて、DX推進課が主体となって、佐賀市としてどのよ

うなDXを推進していくのか考え方を整理しながら、市全体で進めていきたい。〔意見〕スーパードアアプリも、結構難しく感じる部分がある。関係部署としっかりと連携をとって、市民目線で分かりやすいものにしていただきたい。

同予算中、自治公民館空調機等省エネルギー化促進事業

〔質問〕既存のエアコンや照明器具を省エネ機器に入れ替える場合の費用を補助することのだが、工事費や処分費は含まれるのか。また、コインタイマーの設置費用は含まれるのか。

〔答弁〕工事費や処分費は含まれる。空調機本体の工事費を想定しているため、コインタイマーの設置費用は含まれない。

〔質問〕申請金額が予算に達すれば受付を終了することのだが、申し込みが多ければ補正予算を組むなどして対応すべきでは。

〔答弁〕問い合わせを含んだ今までの実績の倍の件数を見込んで計画しているが、応募の状況を見ながら検討したい。



健康運動センター災害復旧工事請負契約の締結について

〔質問〕入札がジョイントベンチャー(JV)の1者のみだが、何らかの条件があったのか。

〔答弁〕予定価格が1億円を超える管工事であったため、佐賀県の建設工事共同企業体取扱要領を準用し、確実かつ安定した技術力を伴った工事の履行が見込めるJVを資格要件とした。

〔審査結果〕全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。

福祉教育

佐賀市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

〔質問〕改正後に限度額超過世帯となる被保険者数は。

〔答弁〕改正後の限度額超過世帯被保険者数は2516人。なお、軽減対象被保険者数は2万3438人で、改正前と比較し306人の増加となる。

〔質問〕専決処分となった理由は。

〔答弁〕国による地方税法等改正の法律および政令の公布日が3月31日で施行日が4月1日であったため、議会を招集する時間的余裕がないと判断したものを。税

常任委員会

関係の改正については市長会等を通じて、地方議会での議論の時間や住民への周知期間が十分確保されるように、改正の時期について配慮の要望をしている。

一般会計補正予算中、新型コロナウイルスワクチン接種経費

〔質問〕接種費用の負担は。

〔答弁〕今年度は、無料となる。

〔質問〕5月8日から行われている春開始接種の状況は。

〔答弁〕6月25日までで約2万9000人が接種をされている。なお、8月31日までで5万人の接種を予定している。

〔質問〕新型コロナウイルスに感染した人もワクチン接種は可能か。ワクチン接種に関するメッセージを市からも発信すべきでは。

〔答弁〕感染後のワクチン接種については、年齢や本人の体調などもあるため、医師と相談のうえ接種の判断をしてほしいと伝えている。市のホームページなど、工夫しながら情報を発信していきたい。

一般会計繰越明許費繰越計算書の報告中、保育所等送迎用バス安全装置導入支援事業

〔質問〕バス安全装置の設置率について、

他自治体と比べての状況は。

〔答弁〕7月9日までに全体の80%の設置を見込んでいる。設置率全国1位の石川県が77.9%であるため、市の設置状況は高い水準になると認識している。



〔審査結果〕全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。

経済産業

一般会計補正予算中、米政策推進支援事業

〔質問〕 土壌診断の件数が増えていないが、利用しやすい体制を整えるべきではないか。

〔答弁〕 土壌診断できる機関の情報等を、農家に提供していきたい。

〔質問〕 市が把握している農業の問題点について、市の政策として国の事業と併せて実施し解消すべきではないか。

〔答弁〕 佐賀市の農業には全国統一的な技術とは別に地域性があるため、県と連携し問題点を補いたい。

建設環境

一般会計

繰越明許費繰越計算書の報告

〔意見〕 繰越しの件数が多くなったと感じる。事業の年度内完了の見込みがあったから当初予算に計上したのでは。基本的に、単年度予算での事業は、単年度で完了するものだ。相手方との調整等に時間を要した等の事情については、理解できないわけではない。だが、本来であれば予算計上する前に、ある程度の予測できざる懸念事項を解消しておけば、当初予算時のそのままの額を丸1年繰越す事

同予算中、DX導入支援事業費補助金

〔質問〕 市内の企業のDXの体制がどうい問題を抱えて、どうい状況に置かれているか調査をしているのか。

〔答弁〕 DXに関して事業者や金融機関にヒアリングを実施しており、課題意識は非常に高いと認識している。

〔質問〕 補助率を100%としているが、全額の補助が本当に必要なのか。

〔答弁〕 国の交付金が活用できることを前提としており、計画策定段階では費用

常任委員会

業が出たりはしなかった。特定の部局に限ったことではないが、単年度で事業を完了できるように、今後、注意をしていたきたい。

市道路線の認定について

〔質問〕 野口2号線と野口3号線の隣接区画はともに10区画という説明だったが、2本の路線の間に5区画ある。この5区画は両路線の隣接区画として重複して数えているのか。

〔答弁〕 両路線に接道している5区画は、それぞれの隣接区画として重複して数え

対効果が分からず不安が大きい経営者が多い。最初の時点では手厚い補助が必要と考える。

〔質問〕 本市の企業数に対して募集枠10社は少な過ぎる。DX支援において、地方都市の中では

佐賀市は遅れていると感じるがどうか。

〔答弁〕 ベンダーの少なさ等、支援体制が大きな課題である。DXを中長期的に



進めるには、支援コンサルタントの掘り起こしや事業者内での人材育成が重要であると考えている。

〔質問〕 単発の支援ではなく、DX推進を継続できる支援策を講ずるのが本来の在り方ではないか。

〔答弁〕 持続可能な支援策を検討し、他機関とも協働しながら、市内の事業者と知見を共有しつつ事業を進めたい。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。

る。

佐賀市廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例

〔質問〕 諸富町と三瀬地区のペットボトル用の指定ごみ袋の大きさについて、今まで大だったのが、今後は中と極小に変更となる。ペットボトルごみは多いと思うが、大を廃止する理由は、

〔答弁〕 今回の改定で



は、諸富町と三瀬地区以外の佐賀市の区域の指定袋に統一するもので、中と極小の2種類となる。

一般会計補正予算中、藻類産業集積化事業

〔質問〕 国からの交付金が終了する2027年度以降の研究費はどうするのか。

〔答弁〕 文科省の交付金等を活用していただくことも含めて、佐賀大学と今後も協議を継続していく。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。